

# 事業通番36 商工業振興指針具現化事業



環境経済部 商工観光課

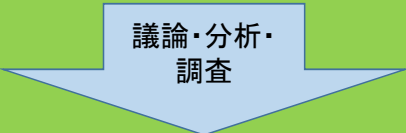
## 1. 野洲市商工業振興指針が策定された背景

野洲市の地域特性や課題を把握し、商工業活性化の方向性を示すものが存在していなかった。



**市全体が一丸となって商工業の振興を効率的に実現するためには、「目指すべきゴール」、「取り組むべき具体的な事業」を示す必要がある！！**

平成22年12月 指針策定委員会 発足。



平成24年4月 委員会からの提言をもとに指針を策定。

## 2. 指針が策定されるまでの議論・分析・調査

全6回の策定委員会

市民・市職員に対する意識調査

SWOT分析

①現状分析→課題を把握。

②①を解決するための**10事業**  
(**商工業振興指針具現化事業**)を抽出。

③①②を受けて指針を策定。

## 3. 野洲市の現状と課題

### 市内の環境

### 市外の環境

#### 強み

- ①安心・安全の地元農産物。
- ②自然・眺望・歴史・利便性。
- ③住みやすい。
- ④子育てがしやすい。

#### チャンス

- ①利便性。
- ②人口増加。
- ③住みやすいまちとしての開発の進行。
- ④イベントを開催できる大型施設の存在。
- ⑤市内企業の高い社会貢献意識。

#### 弱み

- ①事業者・市民同士の交流の機会が少ない。
- ②おもてなし体制。
- ③情報発信。

#### ピンチ(脅威)

- ①消費の流出。
- ②他自治体との連携不足。
- ③魅力的な大型集客施設の不足。

## 4. 取り組みの概要（商工業振興指針具現化10事業）

※順不同。事業名を要約しています。

### Aグループ 地域資源でおもてなし発信

三上山とびわ湖周辺をつなぐ。

地元農産物の魅力発信。

「自分たちが主役」の意識づくり。

「食」のこだわりと魅力を高める。

伝統・商工業を知るツアー。

地元農水産物の利用を促進する。

### Bグループ 自然の魅力を活用

びわ湖周辺のにぎわいづくり。

「食」のこだわりと魅力を高める。

「自分たちが主役」の意識づくり。

### Cグループ ビジネスチャンスの発掘

交流の機会づくり。

商工業者の製品の展示。

制度や機関をフル活用してもらう。

「自分たちが主役」の意識づくり。

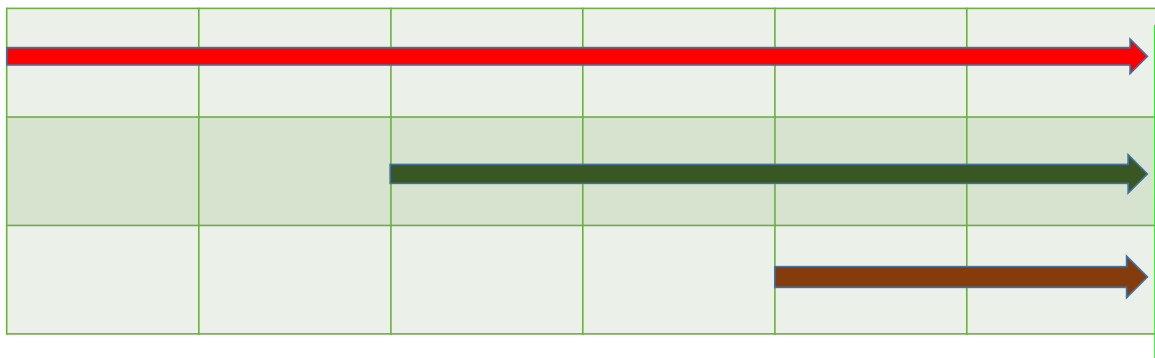
仕組みができたら（軌道に乗ったら）  
主役に承継。その後もサポート。

## 5. 取り組みのスケジュール

H24年度 H25年度 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度

グループ名

A  
B  
C



指針の見直し

仕組みができたら（軌道に乗ったら）  
主役に承継。その後もサポート。

## 6. 商工業振興指針具現化事業の実績① 「大人のまちあそび」

### Aグループ 地域資源でおもてなし発信

- ①時期:平成25年 1~3月の間に計7回。
- ②内容:市内の商店のこだわり・伝統・魅力を見て・聞いて・体験して知ってもらう。
- ③主催:野洲市ボランティア観光ガイド協会。
- ④成果:商店を観光資源とするツアーをガイド協会単独で企画・運営できるようになった。

仕組みができたなら(軌道に乗ったら)  
主役に承継。その後もサポート。

## 6. 商工業振興指針具現化事業の実績① 「大人のまちあそび」

	コース名	実施日	市内	市外	合計
1	そば打ちの見学と塩こうじ作りたいコース	1/25	9	11	20
2	味噌作り体験と福豆を授かるコース	2/3	3	17	20
3	平家・妓王ゆかりの地で名酒`妓王井`の賞味とミニ畳作り体験コース	2/9	14	6	20
4	世界に一つのマイ箸作り体験と奇祭・火渡り神事見学コース	2/25	7	14	21
5	世界の欄の見学&鉢植え体験と明治の酒蔵・地酒を賞味するコース	3/3	5	15	20
6	老舗の和菓子作り体験と古代のアクセサリーまがたま作り体験コース	3/12	6	14	20
7	地元猟師の湖魚佃煮作り見学とお茶挽き体験コース	3/20	6	14	20
			50	91	141

## 6. 商工業振興指針具現化事業の実績① 「大人のまちあそび」



## 7. 商工業振興指針具現化事業の実績② 「野洲まちバル」

### Aグループ 地域資源でおもてなし発信

①時期：平成25年 11月21日(木)・11月23日(土)の計2日間。

②内容：「食べ歩き・飲み歩き」のグルメイベント。

③主催：野洲まちバル実行委員会

④成果：主役によるまちの賑わいづくりができた。  
意欲のある人材を発掘できた。  
イベント実施のノウハウができた。

⑤連携：日本最大の銅鐸里帰り、紅葉ライトアップイベントと連携。

⑥課題：主役の確立。

仕組みができれば(軌道に乗ったら)  
主役に承継。その後もサポート。

## 7. 商工業振興指針具現化事業の実績② 「野洲まちバル」

項目	実績	
1 入込客数(2日間の合計)	約1,500人	
2 チケット販売実績	約716冊	約2,190千円



## 8. 商工業振興指針具現化事業の目的と目標

### 目的(ゴール)

野洲の商工業の活性化とまちの賑わいづくり。



### 目標(手段)

事業者・市民・団体・行政が一緒に取り組む仕組みを作る。



民間の実施主体(商工業振興の主役)が継続して取り組んでいく。

## 9. 市の役割と関わり方

市の役割 = 主役のサポート をすること。

市は、主役が活躍するために

- ①道づくり
- ②ノウハウ・知識・情報の提供
- ③労働力の提供
- ④資金面の補助

などの支援をする。

なぜ市がこの事業を行っているのか = 目的達成により市民に恩恵をもたらすため。

市が事業の仕組み(道)を作り、主役に承継する。

↓  
主役が事業を継続する。市もそのサポートを継続する。

↓  
主役を増やす。市がそのサポートを継続する。

**目的達成!**

- ◆主役の活躍と来訪者の増加  
→経済効果→税収増加
- ◆交流の機会の増加  
→もっと住みやすいまちへ

**ありがとうございました。**